



理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての
ものの生命を大切にし、平和な社会をめざす保育園

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切にし、仲間を大切にする子ども

保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの一人ひとりの発達を援助する
- 2、保護者と子育てを共同する保育園の社会的役割を果たす
- 3、保育園の社会的役割を果たす

子どもたちの言葉

歯科検診にて

4歳児女児 歯科医の前で

「先生のおうちどこなの？」

歯科医 「おうち聞かれたの、はじめてだな」

翌日お母さんへ、このことを話したら、会う人みんな

なにそついうんですよと、不思議がっていました。

その子の興味は今会う人がどこに住んでいるの

かということかなと勝手に想像しています。子ども

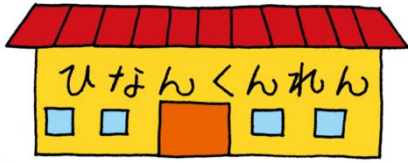
もっておもしろい。そつ思う瞬間でした。

全国的な豪雨災害による目をおおうような被害が毎日報道されています。被害にあわれた方の気持ちを想像するといたまれない気持ちになります。被害にあわれ亡くなった方のご冥福をお祈りいたします。

前年度、東京でも世田谷区にある保育園3園が台風による豪雨被害にあいました。その中の1園は調理室が使えない状況になり、しばらくの間、食事が作れず業者に委託するなどで一定期間しのいだようです。修繕工事終了後は、通常に戻り自園での温かい食事を提供できたと報告を受けました。しかし、委託したことで給食費が高くなり、保育運営に影響がでた経営者の悩みを聞く機会がありました。災害によって防げないこともあるかと思いますが、災害に対する備えを身に付けることで日頃行っている避難訓練の大切さを身にしみ感じるこの頃です。

先日7月9日に行った避難訓練では、担当職員が「地震が来たらまず、自分の身を守ることで、ダンゴ虫のポーズをすること」を幼児クラスの子どもたちにつたえ、実際その姿勢をとってもらいました。その職員が次の訓練の時もまず、ダンゴ虫ポーズをしてねと話すと、5歳児Aさん「忘れちゃうかもしれない」5歳児Bさん「忘れたらもう1回いってね」という声があがりました。さてどうなることやら。次回の訓練の日が楽しみです。

園長 岡本 友子

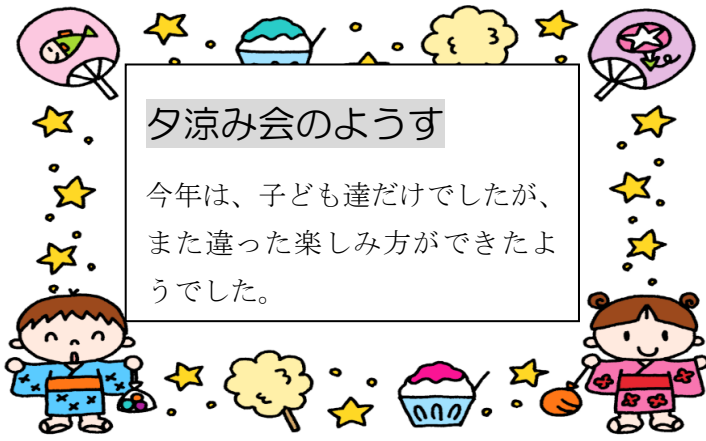


をしました。

先日は、引き取り訓練のご協力ありがとうございました。
その前日には、大きな地震が発生した想定で避難訓練をしました。

今回は、避難した後に幼児の子ども達と「ダンゴムシポーズ」の練習をしました。頭を守ること、しっかりと膝を床につけて踏ん張ること、背中を丸くすることを伝えています。手首、首の内側には大きな血管が流れているのでこのポーズをすることで大事なところが守れるそうです。





夕涼み会のようす

今年は、子ども達だけでしたが、
また違った楽しみ方ができたよ
うでした。

たかさんたちが中心になりお店の品物やおみこし
づくりを準備してきました。当日もお店番を頑張
ってくれたので、あひる、かもめ、すずめのみんな
が買い物を楽しむことができました。会の終了後、
担任が、たかさん達に向けて「準備から今日までみ
んなよく頑張ったね」と褒める言葉をかけると、子
ども達からも「OOさんもお疲れ様！」と言われ、
他の人の気持ちにまで気付けるくらい成長したこ
とに感動し、ウルっときてしまったそうです。

大変な社会状況ですが、その中でも子ども達は毎日を変わず全力で楽しんで、そして成長している姿に勇
気づけられます。

